



子供が自立し

「島」をモチーフに3年の上田立花さんがマークを作ってくれました。



みんなの活躍で創り上げる学校

主体性

自律性

協働性

校長 島 章人

『人を大切に』の思いを込めて!

6月3日「『人権の花運動』伝達式」が万田小学校で行われました。荒尾第一小から受け継いだヒマワリの種を万田小の4年生が大切に育て、種を取り、また次の学校に受け渡します。

子供たちにとって、「人権」を理解するのは難しいことです。ですから、私は「相手を大切にすることと自分を大切にすること」と教えます。ひまわりが大きく育つように、「人権」の心も大きく育ててほしいと思いますし、その心を他の学校にも受け渡したいと思います。



ヒマワリ 次の学校へ 児童に人権の花伝達

「島」をモチーフに3年の上田立花さんがマークを作ってくれました。

荒尾 万田小
ヒマワリは、毎年小学校で育てられ、毎年小学校で受け渡されています。今年も万田小の4年生が大切に育て、種を取り、また次の学校に受け渡します。



令和6年6月6日付け有明新報から

スポーツテスト = 自分はどれだけ成長したのだろうか?

随分昔からあるスポーツテスト。調べてみると、昭和36(1961)年に「体力テスト」として始まったようです。国民の体力・運動能力の現状把握が目的だそうですが、子供たちにとっては、そんなのはどうでもいいことです。ましてや運動が苦手な子にとっては、嫌いな行事の一つかもしれません。

そうなんです。子供たちにとっては、全国平均と比べるよりも、去年の自分の記録と比べる方がうんと意味あることだと思うのです。「自分はどれだけ成長したのだろうか?」と楽しみにしながらスポーツテストに取り組んでくれたらいいなあと思っています。



『今日の時間割、ラッキー』

連日暑い日が続いています。朝、登校するときには、もう既に暑いんです。そんな中、頑張って歩いて登校している子供が、信号待ちで縁石に腰掛け、街頭指導している私に向かって、「今日は水泳の授業がある。ラッキー」だということです。その気持ち、よく分かります。気持ちいいよね!

ところが、「今日は暑いから、更にラッキー」だと言います。本来暑いことはアンラッキーなはずなのに、それをラッキーに変換するその心持ちが素晴らしいと思いました。暑い中、頑張って歩いてきたからこそ得られる「人間性」だと思うのです。夏は暑いのが当たり前、冬は寒いのが当たり前、それを受け入れ、ポジティブに考えることが、とても素敵だと思います。

『人を大切に』の思いが行動に

もう2週間ほど前のことです。朝の登校中に、弱視の方が道路を横断しようとしたところ、手を引いて一緒に渡ってくれた子がいます。「自分は、毎朝交差点に立っているが、その方が目が不自由であることに気づかなかった。子供たちの優しさや観察力はすごいです。」と、交通指導ボランティアの方。名乗り出る子がいないので、いまだにその子が誰なのか分からないですが、万田小に人を大切にしている子がいるのだと思うと、うれしくなります。

もう一つ。6月17日の登校中、「誰か、倒れている人がいます。」と教えてくれたのは、6年の今村さらさん、4年の今村そうすけさん、2年の今村しょうすけさんと野口れいやさん。よく見なければ気づかない(誰も通らない)ような路地裏に、犬を連れてお年寄りが、確かに倒れています。持病により歩行に不安がある上に犬に引っ張られて転倒したとのことでした。

幸い、大きなケガはないようでしたが、自力では立ち上がれない状況でしたので、抱き起こし、念のため自宅まで送って行きました。後日、民生委員さんを通じて、万田小にお礼の電話がありました。「くれぐれも子供たちにお礼を!」とのことでした。

子供たちの「人を大切に」の思いが行動になって表れていることをうれしく思いました。